



塾生さん、いま何してる？

『今だから できること』



▼二年間の塾生期間も終盤となってきた前田さん。来年の卒塾に向けた動きも少しずつ始まってきています。そんな中、塾生の今だからこそ十分に時間を割くことができる。そんなこともあるんです。

「あれこれno.7」で、数をこなす経験として紹介した器の塗装が十一月中旬に終了しました。オケクラフトでは、樹種や用途に合わせて様々な塗料が使用されますが、丈夫であることを意識して製作されたこの器は、これまで前田さんが使用したことのない塗料が使われています。

前田「これまで比較して塗ることがなかったもので、比べて塗ってみることで、よりそれぞれの特徴を把握することができた。」

塾生さんは、時間を割いて学ぶことができる今のうちに沢山の経験を積み、卒塾後、独立して動き出す糧にしています。



「個性を活かす」

季節便り 10月号では、自然の色彩が美しい紅葉について取り上げられていました。置戸に来た年、驚くほど綺麗に色づいた山々を見て感動したのを思い出しました。自然の色彩の強さには圧倒されますね。

今月の森のリレーはこの紅葉から繋げて、樹種のもつ自然の色彩について取り上げます。オケクラフト＝「白い器」が代名詞ですが、実は樹種の「色」を上手く利用した製品もたくさんあるんですよ。その中でも今回は色数の多い2点をご紹介します。

木工房 まんま
「半月プレート」工房 スノーグース
「ミニトレイ
ストライプ」

このような製品は、色の組み合わせによって様々な表情を見せてくれる一方で、特徴の異なる樹種を合わせて加工するため、注意する部分が多く出てきます。また「色」を上手く組み合わせるデザイン力と、木材を加工する技術も必要とされます。そんなところもぜひ、注意して手にとってみてくださいね。

今月の一品

かくれた一品 おすすめの一品
毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！



商品名：飯椀
サイズ：径 120mm
高さ 52mm
価 格：3,300円（税抜き）
樹 種：エゾマツ他

今月の一品は、新米がおいしい季節にご紹介したい、10月工房の飯椀です。

白い木肌が特徴のエゾマツで作られています。重さは約七十グラムと軽く、ご飯も付きにくく、お手入れも簡単。オケクラフトを初めて使ってみたい方にもおすすめです。

炊きたての新米をよそって食べると、いつもよりたくさん食べられるかもしれませんね。

ショップ販売員
平

森林工芸館・どま工房からのお知らせ

森林工芸館の年内の営業日は12月29日（火）まで。年明けは1月4日（月）10時から営業となります。例年とは異なりますので、お間違えのないようご注意ください。

また、企画展開催に伴い、貸館を休止していただきますが、12月7日（月）より貸館再開の予定です。ただし新型コロナウイルスの感染状況により変更の場合もございますので、ご利用の際は森林工芸館までご連絡ください。



「秋岡さんの手道具」

「仕立てをしっかりとると良い道具になる」

「良い道具は作業効率がよく、安全な作業ができる」

などと、秋岡さんはよく口にしていたそうです。実用道具として【使うこと】に重きをおいた秋岡さんの道具へのこだわりは強く、自身が使用する道具はその道の職人に注文し、自分仕様に誂（あつら）えていました。

また、秋岡さんは「職人は仕事に応じて道具を誂え、すりへって原型をとどめない刃物をも大切にしたい。」「道具を観ることで、職人の技と知恵を知ることができる。」と、職人が手の延長として使用した道具に込める思いも伝えていきました。

道具は手の

延長である

秋岡さんのひとこと

